

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

2015 年のコンテナ取扱貨物量（速報値）について  
【国土交通省 平成 28 年 7 月 15 日】

■RPPC 事務局からのお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ 7 月号の  
お知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 川崎市が放射性物質を含むごみ保管灰を浮島処分場へ試験埋立
2. 海上・港湾・航空技術研究所部会の初会合
3. 官民連携による地域活性化調査に 2 件（第 2 次募集分）

=====

◇先週・今週の報道発表

2015 年のコンテナ取扱貨物量（速報値）について

詳細は下記をご覧ください

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port03\\_hh\\_000025.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port03_hh_000025.html)

【国土交通省 平成 28 年 7 月 15 日】

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター発信のメルマガ 7 月号の  
お知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターより、NPO 法人発信のメル  
マガ 7 月号が届きました。添付ファイル「メルマガ 7 月号」をご覧ください。  
（ファイル末尾に掲載）

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 川崎市が放射性物質を含むごみ保管灰を浮島処分場へ試験埋立

川崎市環境局は、放射性物質を含むごみ保管灰の処分に向けた取  
組みを今年度から開始している。ゼオライトを添加する方法の安全性  
を検証した後、今年度下半期から浮島 2 期埋立処分場に試験埋立する。

同局は 25 年 4 月以降に発生したごみ新灰のうち飛灰（ばいじん）  
はゼオライト添加による安全対策を実施し、主灰（燃え殻）と混合して  
浮島 2 期処分場への埋め立てを行っている。主灰は殆どセシウムを

溶出しませんが、飛灰は水や海水への溶出率が高いため、ゼオライトを添加して溶出を抑制する。

一方、23年7月から25年8月までに発生した飛灰(ばいじん)は、放射性物質濃度が高く、約2万1000tをコンテナに入れて浮島1期地区埋立地に保管している。

これらは放射性物質濃度が平均約390ベクレル(110ベクレル～1900ベクレル)。

市はごみ保管灰の処分に向けた実験室レベルでの安全性確認を昨年度に実施し、ごみ新灰と同様にゼオライトを添加することにより、「放射性物質の水への溶出率を30%以下に抑えられること」及び「浮島2期埋め立て処分場の内水濃度を10ベクレル以下で管理できること」を確認した。10ベクレルは同市の管理目標値で、国の水浴場の指針と同等の基準。

【港湾空港タイムス】

.....

## 2. 海上・港湾・航空技術研究所部会の初会合

国土交通省は7月11日、「国土交通省国立研究開発法人審議会海上・港湾・航空技術研究所部会」の初会合を開いた。部会長に磯部雅彦高知工科大学学長を選任したほか、3研究所毎の27年度業務実績評価ならびに期間実績評価(第3期中長期目標期間)を行った。

港空研は中長期目標期間として、東日本大震災の津波メカニズムの研究、27年度実績では構造物の地震・津波による複合被害の予測、新たな液状化メカニズムの研究等を報告。期間実績、27年度実績ともAランクの自己評価を示した。

【港湾空港タイムス】

.....

## 3. 官民連携による地域活性化調査に2件(第2次募集分)

国土交通省は官民連携による地域活性化を図る「28年度官民連携基盤整備推進調査費(第2回募集分)」の実施案件として、港湾関係では須崎港、油津港の2事業を選定したと発表した。

須崎港では物流機能強化および防災力向上のための検討調査(実施主体:高知県)で、施設の耐震化や岸壁整備の事業効果などについて検討する。油津港はクルーズ船寄港に向けた基礎整備に関する調査(宮城県)で、大型クルーズ船が安全に入港するための調査や岸壁延伸の概略設計などを行う。

【港湾空港タイムス】

発行者：RPPC 広報部会  
部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）  
部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）  
木村 竜也 東京都  
梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター  
紫牟田 和隆 光和精鉱（株）  
新谷 聡 りんかい日産建設（株）  
リサイクルポート推進協議会 事務局  
一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菅木  
URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

# PORTTOWN MAGAZINE

<2016年7月号>

2016年7月15日配信

このたびの熊本県および、大分県を震源とする地震により  
被害を受けられた皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます

みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今月も日本海側リサイクルポート、能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思います。それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

## ////// I N D E X //////////////////////////////////////

### ① 能代港ニュース

- ・「日本酒からの観光立国」「飛鳥Ⅱ」グランドクルーズで酒造ツーリズム

### ② 酒田港ニュース

- ・酒田港まつり 今年8月5日～6日！！
- ・世界のクルーズ船 パネルで紹介。

### ③ 姫川港ニュース

- ・7月29日～30日は、第41回糸魚川おまんた祭り。

### ④ 境港ニュース

- ・鳥取・境港から北海道へ貨物の海上輸送実験 定期航路化探る。

### ⑤ 編集後記

## ■ 能代港ニュース

### ○「日本酒からの観光立国」「飛鳥Ⅱ」グランドクルーズで酒造ツーリズム

6月20日、日本最大のクルーズ船「飛鳥Ⅱ」が能代港に寄港した際、酒蔵訪問の企画が行われた。乗客はほとんどがリピーター。「飛鳥Ⅱ」の100日を超える世界一周クルーズを経験し、世界各国の観光地を巡る旅の上級者も多い。能代港から「大平山」の銘柄で名高い1879年創業の小玉醸造を訪れた。

日本酒を世界的なさげにすることで地方にインバウンドを増やせたらと期待が膨らむ。

## ■ 酒田港ニュース

### ○酒田港まつり、今年も8月5日～6日！！

今年も酒田港まつりの季節がやってまいりました！

8月5日は酒田甚句に乗り、約2,000人の市民による踊りパレードが市の中心商店街で繰り広げられます。酒田甚句には江戸時代からの北前船交易による酒田湊の繁栄ぶりがよく表されており、「ホンマに酒田はよい港 繁昌じゃおまへんか」と、歌詞の中にも、上方文化の影響が見られます。

この酒田甚句は、お座敷歌として今も歌われています。

また、パレード終了後には、酒田甚句をアップテンポにした「S-J i n k u」に乗り、創作ダンスで会場を沸かせます。

そして、6日は酒田花火ショー。最上川河口の広大な敷地を最大限に利用したダイナミックな花火ショーです。水上スターメインや空中スターメイン、圧巻の2kmに渡る空中ナイアガラなど見どころ満載です。

酒田花火ショーは、音楽と花火のコラボも魅力の一つです。

大型スピーカーによるサウンドに合わせて打ち上がる花火が楽しめます。

この花火の起源は、1929年に酒田港が第二種重要港湾に指定されたのを記念して打ち上げたのが始まりです。

※詳細はHPにて

<http://www.sakata-kankou.com/event/31?season=summer>

### ○世界のクルーズ船 パネルで紹介。

「世界のクルーズ船」をテーマにしたパネル展が、酒田市の酒田海洋センターで開催、世界で人気が高まっているクルーズ船や酒田港の受け入れ状況などを分かりやすく解説している。

国土交通省酒田港湾事務所（上原修二所長）がクルーズ船への理解を広めようと企画。写真や図解のパネル約30枚を展示した。運航状況に関しては、特に経済成長著しい東アジアで急増。わが国へのクルーズ船による外国人観光客は2015年に100万人を超え、政府は20年の目標を「500万人」に設定するなど、インバウンド（外国からの観光）の重要施策の一つとして推進していきます。

.....

○ <	<b>第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～開催まで</b>
<□>	
	<b>あと 56 日</b>

※詳細はホームページにて

[http://yutakanaumi-yamagata36.jp/gaiyou/gaiyou\\_01.html](http://yutakanaumi-yamagata36.jp/gaiyou/gaiyou_01.html)

■ 姫川港ニュース .....  
.....

○ 7月29日～30日は、第41回糸魚川おまんた祭り。

三波春夫が歌っていて有名な“おまんた囃子”を地元保存会が演奏する中で、約3,000人の市民による大市民流しが行われます。

ヒスイレディの龍神丸舟みこしパレードや、子供みこし等が繰り広げられる夏祭り。今年も前夜祭の開催があります。

【日 時】 : 7月29日（金） 17時30分～

7月30日（土） 12時～ 市民流し19時～

【開催場所】 : 糸魚川駅周辺

【問い合わせ】 : 糸魚川おまんた祭実行委員会 （025-552-6570）

※詳細はHPにて

<http://www.itoigawa-kanko.net/>

■ 境港ニュース —————

○鳥取・境港から北海道へ貨物の海上輸送実験 定期航路化探る

境港管理組合（鳥取県境港市）は 27 日、山陰地方と北海道とを結ぶ海上貨物輸送ルートを開拓するため、トレーラーが直接乗り降りできる RORO 船を使ったトライアル輸送（実証実験）を行った。運航コストやリードタイム、輸送品質などを検証し、定期航路化の可能性を探る。トライアル輸送は苫小牧港と敦賀港（福井県）を定期運航する近海郵船（東京・港）の RORO 船「ひだか」の休航日を利用して境港まで延長運航し、船腹の一部をチャーターする形で行った。北海道側からは洋紙や自転車、小豆などを、山陰からは飲料水や合板、建材などをそれぞれ運んだ。

27 日は境港で、ひだか寄港を記念した式典も開かれた。鳥取県の平井伸治知事は、西日本の日本海側は国内の定期航路がないため「トラック運転手の不足によるモーダルシフト対応や太平洋側の災害時にリダンダンシー（冗長性）が確保される」と述べ、定期化に期待を示した。近海郵船の田島哲明社長は「規模の経済が働く貨物船では、一定・安定した荷動きが必要」と述べ、地域での荷主開拓の重要性を指摘した。

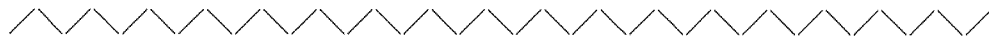
■ 編集後記 —————

最後まで読んでいただきありがとうございます。

気温の上下があまりにも目まぐるしく、その煽りを受け季節外れの風邪を引いてしまった編集・齋藤です。そんな中ではありましたが、私は先日同僚を引き連れおとなりの鶴岡市へ「庄内酒まつり」に参加しました。庄内地方の 20 数社の日本酒が試飲できるというので、たくさんの人で賑わっていました。山形県の酒蔵の数は、日本では 7 番目、東北では 1 番になります。山形県民にとって「日本酒」はこんなにも愛され、大切にされているのだと、しみじみ感じるイベントでした。これからもたくさんの人達に「米処」山形のお酒を楽しんでいただけたらと思います。

それでは、次回の PORTTOWN MAGAZINE をお楽しみに。

※次回配信は 8 月 18 日になります。



PORTTOWN MAGAZINE

配信日 毎月 15 日



発行元

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター 担当：齋藤

〒998-0005 山形県酒田市宮海字南浜 1 番地 50

TEL:0234-31-7117 FAX:0234-33-2600

